

柏門技術士会の皆さんの見学会・意見交換会

2016年8月27日、本学卒業生の技術士資格をお持ちの方々より構成される「柏門技術士会」の皆さんに原研にお越しいただき、施設見学、講演、意見交換を行いました。はじめに当施設の紹介として研究用原子炉「武蔵工大炉」の設置、運転、そして現在の廃止措置に至る状況の概要をご説明しました。続いて、管理区域への立ち入りに当たっての注意事項及び事務手続きを行い、RI（放射性同位元素）実験室、原子炉室、制御室を見学いただきました。RI実験室では、グローブボックスを用いた研究紹介（松浦先生）、大型遮蔽体を用いた低バックグラウンドの環境試料中の放射能測定研究（岡田先生）をご見学いただきました。原子炉室では、武蔵工大炉の現在の状況及び、構築中の1.7MV静電加速器をご覧いただきました。制御室では、学生実験で使用している原子炉シミュレータや当施設の屋外モニタによる放射線計測についてご紹介しました。

見学に続き、松浦先生より「選択フッ化および溶融塩電解法を用いた燃料デブリの処理」と題した講演を行いました。今回の見学会では「震災・事故経験をどう活かす」というテーマで、福島第一原子力発電所の事故を念頭に原子力施設の廃止措置やデブリの取出し・処理という問題について情報収集、意見交換を行うことを目的とされました。講演後の質疑応答、意見交換では、国内外の核燃料再処理の技術の現状や、廃棄物の最終処分の問題、事故炉の廃止措置作業における遠隔操作技術など多岐にわたるテーマでの質問や意見が挙げられ活発な対話が行われました。



武蔵工大炉・炉頂での集合写真



施設見学・グローブボックスでの実験



施設見学・放射能測定研究



意見交換の様子

2016年8月27日
東京都市大学 原子力研究所